

間伐促進地域活性化事業

自治体情報 岐阜県恵那市

人口 / 53,964人 標準財政規模 / 18,013百万円

担当課 経済部林業振興課
電話番号 代表 0573-26-2111
実施主体 笠周地域木の駅実行委員会
関連ホームページ

事業期間 平成23年度から平成25年度まで

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：3,180千円

名称	所管	金額(千円)
県民協働による未利用材の搬出促進事業(実行委員会への補助金)	岐阜県	795
	恵那市	795
	実行委員会	1,590

施策のポイント

- ・ 間伐の促進
- ・ 地域の商店の活性化

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

- ・ 平成20年度に策定した「えなの森林づくり基本計画」により取り組むべき課題が8項目示され、平成21年度には8つの項目に対して、平成27年度までに、どのように行動に移すべきかの方策として課題を整理して「えなの森林づくり実施計画」の策定をした。その実施計画の課題の中の「林地残材の活用」及び、「森林づくり活動に対する協力体制」について、中野方で行われている「木の駅」が有効な手段であると思われるため、今後、市内全域での伐採を促進するための取組としている。

2. 取組の具体的内容

- ・ あらかじめ実行委員会に登録した出荷者が、決められた土場に、間伐による林地残材を搬入すると、1t当たり6,000円(材の売上+市補助金)の「モリ券」(地域通貨券)を受け取り、その「モリ券」で地域の登録された商店で食事や買い物ができる仕組み。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ・ 年間900t

4. 現在までの実績・成果

- ・ 平成23年度においては、258tの材の搬出。
- ・ 平成23年度において、2,319枚の地域通貨券を発行した。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

- ・ 地域通貨券を使用できる商店の確保 → 実行委員会の役員が説明に回った。

6. 今後の課題と展開

- ・ 地域通貨券の利用の偏りの解消
- ・ 土場へ集材された材が業者が引き取りに来るまでに減少する重量の取扱